



城西国際大学 Newsletter

Autumn.2023
vol.2

城西国際大学の教育研究活動に関する情報を発信するNewsletter。毎号、全7学部共通のキーワードを軸に研究者たちの多様な取り組みを紹介します。

今号のテーマ

多文化・多様性社会

国籍、民族、言語や年齢、性別・性的指向、思想信条、障がいの有無など、互いの違いを尊重し合い、相互理解しながら共に生きていける「多文化・多様性社会」。その実現のために、いまどのような行動が求められているのでしょうか。7学部9学科を擁する城西国際大学の研究者が、それぞれの専門領域から考察・予測します。

Highlight

少子化対策

国際人文学部 国際文化学科 教授 魚住 明代

「多世代の家」を軸に家族政策に取り組むドイツの事例から学ぶこと



Topics

HAIKU

国際人文学部 国際交流学科 教授 田原

五・七・五で「美」を表現 「世界一短い文学」が静かなブーム



まちづくり

観光学部 観光学科 助教 金子 祐介

電動車いすの観光利用に着目 究極のスモールモビリティとなるか



異文化

経営情報学部 総合経営学科 教授 吳 小莉

日本の文化とコミュニケーションを紹介する、中国人学生向け教科書を発行



韓流エンタメ

メディア学部 メディア情報学科 准教授 黄 仙恵

世界を席巻する韓国コンテンツ 発展を支える人材の成長



東洋医学

薬学部 医療薬学科 特任教授 地野 充時

漢方薬のポリファーマシー問題、医師の知識不足も一因か



高齢社会

福祉総合学部 福祉総合学科 助教 茆 海燕

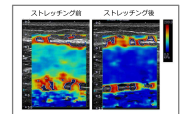
IT化進む中国の介護 日本はサービスの質で先行



ストレッチ

福祉総合学部 理学療法学科 助教 深谷 泰山

短時間・強負荷でリハビリ効果向上 VR使用のシステム開発も



看護の国際化

看護学部 看護学科 助教 石井 恵美子

一人ひとりの状況に即した適切なケアの担い手を育成



少子化対策

国際人文学部 国際文化学科 教授 魚住 明代

うおずみ あきよ

「多世代の家」を軸に家族政策に取り組む ドイツの事例から学ぶこと



日本同様に低出生率や高齢化といった人口問題に直面しているドイツの状況について、2018年から地域における家族政策に焦点を当てて調査を行っています。

かつてドイツでも、女性は家庭に活動の重点を置く生活スタイルが一般的でした。しかし、メルケル首相が就任した2005年頃から、女性も外で働き、男性も育児休暇を取るなど、政策の掲げる家族モデルが変化してきました。

ドイツ政府は様々な家族政策を講じています。その中でも特筆すべきなのが、地方自治体への資金援助の一環として2006年から各地に開設された連邦プログラム「多世代の家」です。子どもから高齢者まで利用できる公民館のような交流型施設で、幅広い世代が相互に助け合いながら交流しています。運営を支えるのは、福祉支援団体や地元企業、地域住民のボランティアです。

現在「多世代の家」は全国約530カ所に設置され、料理や工作などの教室やカフェ、人生相談、祭りなども展開しています。出産後の母親を対象とした体操教室では、参加者の赤ちゃんの面倒を高齢者が見ることも。また、**地元住民と移民とが言語を相互学習する機会も設けられています**。育児や就業をサポートしたり、高齢者の孤立を防いだりという役割を果たしている「多世代の家」が、人口問題解決の一翼を担う存在にもなっているのです。



▲「多世代の家」での高齢者と子どもの交流会

公益財団法人アーバンハウジングからの委託研究で「多世代の家」を1年間にわたって調査した結果、利用者の相互理解を促進し、仕事と子育て・介護の両立を支援するとともに、地域住民の経済的負担を軽減する効果をもたらしていることも確認できました。

若者も高齢者も地域活動に参加できるような社会システムを構築することで、全国レベルでの地域活性化を図る「多世代の家」。少子化が急速に進む日本でも、参考になる取り組みと言えるでしょう。調査は一旦終えて報告書にまとめましたが、今後は、現在第4期に入った本連邦プログラムの成果と課題を、専門家への聞き取りも踏まえて掘り下げたいと考えています。

<専門分野・研究テーマ>
家族社会学、ドイツ研究、ジェンダー論

<キーワード>
ドイツの家族制度

Topics

俳句・HAIKU

国際人文学部 国際交流学科 教授 田原 (デンゲン)

五・七・五で「美」を表現
「世界一短い文学」が静かなブーム



1991年に国費留学で中国から来日後、詩人として活動するほか、日本の詩や小説を多数、中国語に翻訳してきました。特に谷川俊太郎、金子みすゞ、松尾芭蕉、太宰治の作品を「外からの目線」でとらえた翻訳は中国で大きな反響を呼びました。また、後世に残したい日本の俳句として1,310句を私なりの視点で選び、一冊にまとめた名句選も発表しています。

近年、SNSで短文投稿に親しんだZ世代の間でも、俳句が静かなブームとなっています。海外でも「世界一短い文学」として「HAIKU」(自由律俳句)愛好家が増えています。

コロナ下での孤立もあって、みんな自分を表現したがるのではないのでしょうか。読後の余韻に重点が置かれ、17音で「美」を最大限に表現する俳句は、日本人の精神性が宿った、いわば「日本の宝」と言えます。これからも中国、そして世界に、その魅力を伝えていきます。



▲田原教授が編集した『百代の俳句～誰もが知る名句から誰も知らない名句まで』(2021年、ポエムピース)

<専門分野・研究テーマ>
日本現代詩 (谷川俊太郎を中心に研究・翻訳)

<キーワード>
谷川俊太郎、日本現代詩、俳句

まちづくり

観光学部 観光学科 助教 金子 祐介 (かねこ ゆうすけ)

電動車いすの観光利用に着目
究極のスマールモビリティとなるか



健常者における電動車いすの観光利用の可能性を探る実証実験を、2022年から企業の協力のもとで行っています。電動車いすは障がいの有無にかかわらず、楽に移動でき、体力を温存しながら活動範囲を広げることができるスマールモビリティとも言えます。実証実験は、北海道士幌町などの自治体にご支援いただき、事業を進めてきました。ゼミ生たちは、この町のほか横浜市や新潟県上越市などに出向き、実際に電動車いすに乗って地域を回っては、各地域の歩道走行上の課題や、自動運転バスや無人のコンビニといった未来社会の変革に対応する際の課題の整理などについて、約3年間にわたって記録を取り、課題の可視化を実践してきました。走行し起こり得る安全面の問題や、レンタル施設などの不足といった



▲電動車いすではちょっとした段差がトラブルの元だということがわかった際の様子

課題もありますが、電動車いすは観光地での移動手段を変えるポテンシャルが十分にあると考えています。

<専門分野・研究テーマ>
地域ブランディング、まちづくり、アーバンデザイン論、建築・デザイン史

<キーワード>
地域社会、住民参加型まちづくり、地域基盤整備、地域資源

異文化



経営情報学部 総合経営学科
教授 吳 小莉 (ウ ショウリ)

日本の文化とコミュニケーションを
紹介する中国人学生向け教科書を発行



1990年に中国から来日以来、本学で中国人留学生に日本語を、日本人学生に中国語と国際語としての英語を教えてきました。その経験をもとに昨年、**中国の大学で日本語を専攻する学生を対象とした教科書**を出版しました。日本人とのコミュニケーションを理論だけではなく実践的に学ぶもので、**国民性による行動の違いや、寛容、礼儀正しさといった日本独自の文化や慣習、さらにはコミュニケーションスタイルなども紹介**しています。

私が執筆に関わった（共著）教科書で学ぶ中国の大学生、また私が現在直接教えている日本の学生には、**国際的なコミュニケーション能力を高め、異なる文化を尊重する姿勢を**培ってもらいたいと願っています。またその力を社会に出ても発揮し、異文化間の交流を促す人材になってくれることを期待しています。



▲吳 小莉教授が執筆に関わった『中日跨文化交際教程』（2022年、外語教学与研究出版社）

<専門分野・研究テーマ>
異文化コミュニケーション学、第二言語習得研究

<キーワード>
異文化コミュニケーション教育、異文化コミュニケーション著書の翻訳

韓流エンタメ



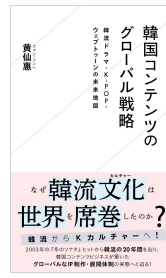
メディア学部 メディア情報学科
准教授 黄 仙恵 (ファンソンヘ)

世界を席卷する韓国コンテンツ
発展を支える人材の成長



2003年のドラマ「冬のソナタ」の大ヒットに端を発した**韓流ブームの後押しで、韓国のコンテンツビジネスは大きく発展**しました。ドラマ、映画、音楽、アニメーション、漫画といったコンテンツの生産のみならず、マネジメント、ファンコミュニティの運営、イベントの開催、日本での拠点づくりといったエンタテインメントビジネスへと進化していきました。こうしたビジネスの現場で**コンテンツプロデューサーとして、制作や流通、マネジメントを通じた日韓間の大衆文化の橋渡し役**を担ってきました。また、教鞭を執る傍ら、**コンテンツの日韓共同制作**なども進めています。

韓国のコンテンツ産業が発展し続けている要因の一つは、人材の成長です。失敗を恐れず次々とアイデアを出して行動する人材が育っています。日本の学生にもそうした人材に育ってほしいと願い、授業ではノウハウだけでなくマインドの大切さについても語っています。



▲黄 仙恵准教授が今年1月に上梓した書籍『韓国コンテンツのグローバル戦略』（2023年1月、星海社）

<専門分野・研究テーマ>
メディアデザイン学、韓流エンタテインメント

<キーワード>
メディアデザイン、コンテンツビジネス、エンタテインメントビジネス、韓流、韓国メディア

東洋医学

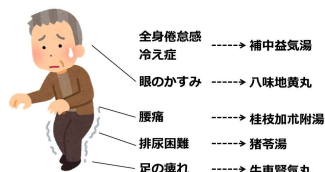


薬学部 医療薬学科
特任教授 地野 充時 (ちのあつし)
漢方薬のポリファーマシー問題
医師の知識不足も一因か



漢方薬のポリファーマシー（併用処方）による健康被害を危惧しています。漢方専門医は、様々な症状に対し、患者さんの病態を表す「証（しょう）」を見極め、適切な漢方薬を選択します。しかし、漢方薬に詳しくない医師は、あたかも西洋医学で症状ごとに「1対1」で薬を処方するように漢方薬を処方します。そのため別々の医療機関に所属する複数の医師が、一人の患者さんに複数の漢方薬を処方してしまうという現象が起きています。**漢方医学教育がコア・カリキュラムに盛り込まれたのは2001年からと歴史が浅く、医師の知識不足もその一因**と考えられます。日本東洋医学会などとも連携し、こうした現状を改善するための啓発活動などを続けること

各科の先生が病名で漢方薬を処方してしまうと…



▲ポリファーマシーのイメージ

で、「東」と「西」それぞれの強みを活かした治療効果が得られるよう努めています。

<専門分野・研究テーマ>
和漢診療学、内科学

<キーワード>
現代医療における漢方薬の臨床応用、ポリファーマシー、漢方薬、東洋医学

高齢社会



福祉総合学部 福祉総合学科
助教 茆 海燕 (モウカイエン)
IT化進む中国の介護
日本はサービスの質で先行



日中間の高齢者介護の相違点に着目しています。中国も「高齢社会」に突入しました。政府はIT技術を活用した介護に力を入れ、通院する在宅患者のバイタルデータを24時間モニタリングする病院も出てきました。一方、高齢化が世界で最も進む日本は、介護保険制度をベースとした手厚いケアと質の高いサービス、介護施設の行き届いた管理などの分野で先行し、中国企業からも注目されています。

本学科には中国人留学生も多く、卒業後は母国の介護施設経営者になることを目指して、日本の福祉・介護を学んでいます。留学生と日本の学生が互いの国の福祉・介護を学び、

両国の社会課題の解決に何ができるのかを日々模索し合えるよう、サポートしています。



▲バラスポーツ「フライングディスク」の疑似体験の様子

<専門分野・研究テーマ>
社会福祉学、日中高齢者福祉論

<キーワード>
中国農村部における地域高齢者への支援システム

ストレッチ



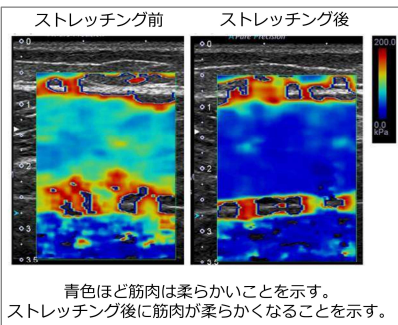
福祉総合学部 理学療法学科
助教 深谷 泰山 (ふかや たいざん)

短時間・強負荷でリハビリ効果向上
VRシステムの活用も



ストレッチの効果について研究しています。専門の器具を使ってストレッチ前後の筋肉の硬さを測定・比較したところ、**ストレッチ運動は、年齢にあまり関係なく長い時間をかけて弱い力で行うよりも、短い時間で強く行ったほうが、効果が高い**という実験結果が得られました。

しかし、強いストレッチ運動は痛みや不快感を生じる可能性があり、本来の正しい運動が行えないケースが多々見受けられます。そこで現在、VR（仮想現実）技術を利用して、リラックス効果のある映像やサウンドをゴーグルやヘッドフォンで視聴しながら、**どんな世代でもより効果的にストレッチ運動ができるようにVR関連の企業とともに取り組んでいる**ところです。来年度にはこの研究で科研費にも申請をする予定です。



<専門分野・研究テーマ>
ストレッチングが柔軟性に及ぼす効果、基礎理学療法
<キーワード>
ストレッチング、柔軟性、超音波画像診断装置

看護の国際化



看護学部 看護学科
助教 石井 恵美子 (いしい えみこ)

一人ひとりの状況に即した
適切なケアの担い手を育成



医療現場で国際的な環境にも適応できるようにと、看護学部生の演習に他学部の留学生にも模擬患者として参加してもらう試みを2021年から実施しています。「やさしい日本語」を心がけながら留学生とコミュニケーションをとるなかで、最後は**国籍に関係なく、患者さんの個性を理解し尊重する意識が大切**であることを学びます。留学生も、看護学部生との交流や模擬患者としての役割体験を通じて充実感や満足感を得ることができ、日本語学習への意欲向上にもつながっているそうです。

卒業後、**多様な患者さんに迅速かつ適切なケアを提供できる看護職者を育成**することが目標です。この演習に参加した卒業生の一人は、助産師として就職後「海外で医療に携わりたい」と一念発起してJICA海外協力隊に応募し、2024年から助産師としてタンザニアへ派遣される予定です。この演習で学んだ学生が、世界各地で活躍することを期待しています。



▲他学部の外国人留学生を交えた演習授業の様子

<専門分野・研究テーマ>
母性看護学、在住外国人の母子保健、協働学習
<キーワード>
国際看護

JIU NEWS DIGEST

城西国際大学の最新の活動の中から、注目の話題をお伝えします。

アニメ映画を通して
ウクライナを知るイベント開催

ウクライナで製作されたアニメ映画としては日本初公開となる作品『ストールプリンセス：キーウの王女とルスラン』が今秋、上映されました。これを前に、本学東京紀尾井町キャンパスで8月27日、特別試写会および日本で避難生活を送る方々によるウクライナ語講座などのイベントを開催しました。

この映画を独力で買い付けた本学メディア学部の卒業生・粉川なつみさんと、粉川さんの後輩となる同学部の学生が協

力して企画したもので、広く一般の方に無料で公開しました。

『ストールプリンセス：キーウの王女とルスラン』は大切な人を守るため、さまざまな困難を乗り越える主人公の姿を描いたファンタジーラブストーリーです。本学を2019年に卒業し、映画配給会社に勤務していた粉川さんが「ウクライナのために自分も何かしたい」と会社を辞め、自費で配給権を買い取り、クラウドファンディングなどで資金を集めて上映してくれる劇場の開拓に奔走。その思いと行動力が話題を呼び、公開前から注目を集めました。



© 2018, SSVG EAST FUND INVESTMENT LIMITED
© 2018, "ANIMAGRAD" LTD
© 2018, Ukrainian State Film Agency
© 『ストールプリンセス：キーウの王女とルスラン』製作委員会

編集後記

国際大学である本学のキャンパスにもようやく留学生の姿が戻り、学生の海外研修も本格化しています。その一方で、コロナ下で高校時代を終えた1年生をはじめ、「ソト」「他者」とのつながりを十分に築けなまま大学生活を送っている学生も少なくありません。上記で紹介した卒業生・粉川さんの活動は、そんな学生たちに「海外に行くことばかりが国際的な活動ではない」という気づきと、大きな刺激を与えてくれました。

今回のNewsletterでは、さまざまな背景を持つ学生たちの視野を広げ、新たな視点を得るきっかけとなるような取り組みをご紹介します。



発行・編集/城西国際大学広報室
発行日/2023年11月8日
本学公式サイトURL
<https://www.jiu.ac.jp/>



公式WEBサイト

<お問い合わせ>
城西国際大学 広報室
TEL : 0475-55-8860
FAX : 0475-53-4660
E-mail : pr1992@jiu.ac.jp

千葉東金キャンパス 〒283-8555 千葉東金市求名1番地
東京紀尾井町キャンパス 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26